

投資家向け説明会

2022年11月

日産車体株式会社

皆さま、こんにちは。

日産車体株式会社、代表取締役社長の吉村東彦です。

ただいまより、2023年3月期 第2四半期決算について説明致します。

2022年度、第2四半期の売上台数は、大きく落ち込んだ20年度からは増加しているものの、21年度からほとんど変わらず、6万台となりました。

車種別の売上台数を見ると、ご覧のようになります。

キャラバンと、NS-Kのフレーム車は、4、5月に起こった上海ロックダウンの影響を受けましたが、半導体影響を大きく受けた前年度に対しては増加となりました。また、湘南工場は今年度の半導体供給不足がNV200バネットとADを直撃し、大幅に減少しました。

次に、売上高についてです。2022年度第2四半期の売上高は、前年同期の1,151億円に対し、1,309億円となりました。

損益面では、営業損益が前年同期のマイナス5億円に対してマイナス10億円、当期純損益は前年同期のマイナス2億円に対してマイナス5億円と、材料市況悪化の影響により前年度に対し減少し、厳しい状況となりました。

以上が、第2四半期の実績です。

今回の決算も営業損益が残念ながらマイナスとなりました。

しかしながら、第3四半期以降は、営業損益も挽回していく見込みで、通期の収益見通しは当初計画に対して変更していません。

以上が2023年3月期 第2四半期決算についての説明になります。

お忙しい中、ご視聴いただき、誠にありがとうございました。